

Zoom機能の使い方

【スポットライト編】

Zoomにはビデオを固定する機能として、ピン留めとスポットライトがあります。まずピン留めとスポットライトの違いをご紹介します。

【ピン留め】

参加者自身の画面上でビデオを固定する方法で、他の参加者には反映されません。

※参加者自身がピン留め（ビデオ固定）を行う方法は「**聴覚障害学生のためのオンライン授業ノウハウ集** —Zoom画面設定—」の「**基本的な表示方法の使い分け**」をご覧ください。

【スポットライト】

出席者が3名以上おり、ホストおよび共同ホストがスポットライトを設定することで、参加者が**スピーカービュー**で閲覧している時に、ホストおよび共同ホストが設定した画面構成で閲覧が可能になります。ただし、参加者の機種により、表示人数が異なることと、ギャラリービューでは反映されませんので、ご注意ください。

※表示人数について

パソコン：25名（設定を行うと49名まで可能となる）

iPhone・Android：4名

iPad：16名（iPad Pro25名）

※ギャラリービューでは通常通り、参加者全員の様子を見ることができます。ただし、ウェビナーを使用する場合は、参加者全員に反映されますので、希望する画面構成で配信がすることができます。

このように同じビデオ固定でも、ピン留めとスポットライトでは、反映される方法が変わります。特にスポットライトは、情報保障を行う際などに活用できる機能です。

設定方法と活用例についてご紹介します。

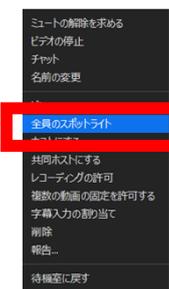
【スポットライト設定方法】



1. 大きく映したい映像の右上にある「…」をクリックします。



2. 「全員のスポットライト」をクリックします。
クリックすると参加者全員の画面上に指定した映像が大きく映し出されます。



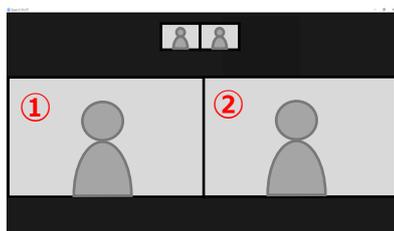
3. 次に大きく映したい映像の右上「…」をクリックし、「スポットライトを追加」をクリックすると追加することができます。



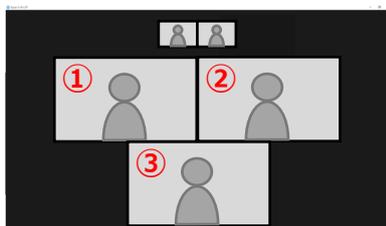
※ビデオ非表示になっている場合はスポットライトの設定は出来ません。

4. 表示順は左上→右上→左下→右下の順に追加されていきます。

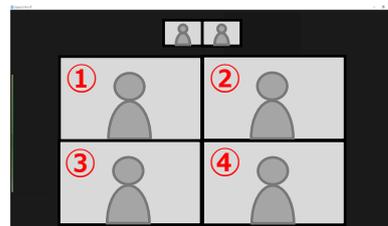
< 2名 >



< 3名 >

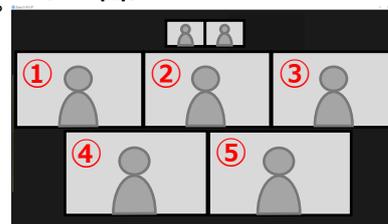
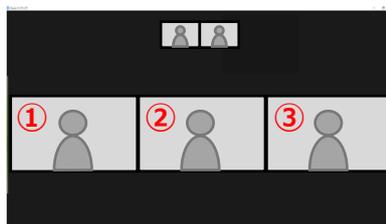


< 4名 >



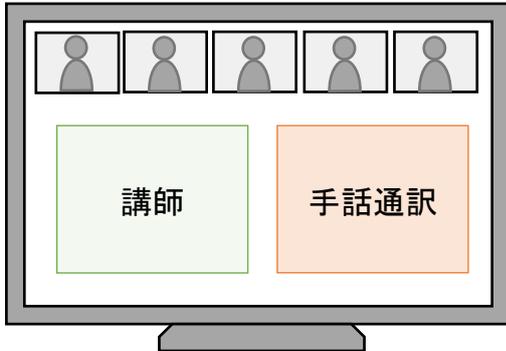
※Zoom画面のサイズによって下記のような表示方法にすることもできます。

< 5名 >

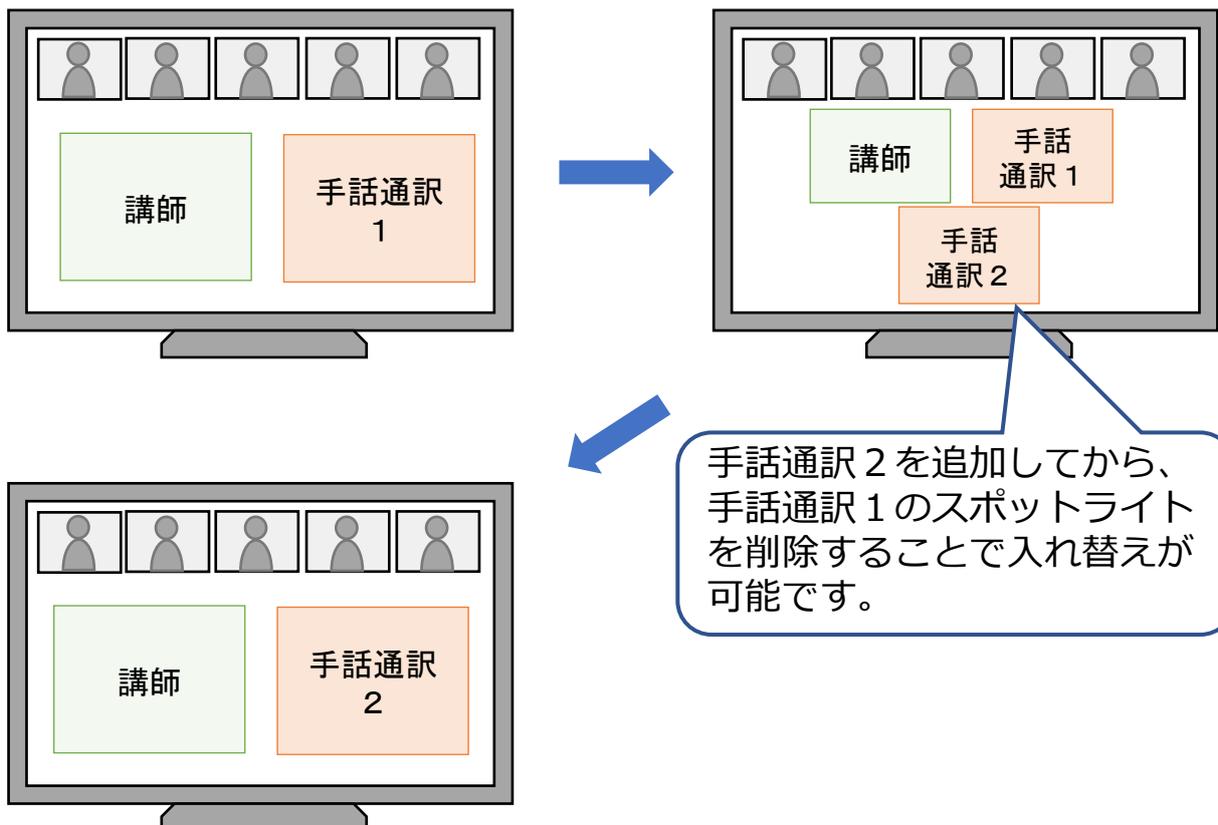


＜スポットライトの活用例＞

1. 講師、手話通訳の映像を大きく配信したい



2. 講師、資料、手話通訳の映像を大きくし、手話通訳は途中で交代したい



【画面共有中にスポットライト設定した参加者映像を大きく表示する方法】

スポットライトを使用している時に画面共有を使用すると、スポットライトを設定した参加者の映像が小さく表示されます。参加者自身が左右表示モードの画面の設定を行うことでスポットライトの映像の大きさを変えることができます。ホストや共同ホストが調整を行っても、参加者には反映されません。

※以下、「聴覚障害学生のためのオンライン授業ノウハウ集 —Zoom画面設定—」の3. 画面共有中に話者の映像を大きく表示する方法（左右表示モード）より引用

3. 画面共有中に話者の映像を大きく表示する方法(左右表示モード)

WindowsPCの場合

- ①スピーカービュー(話者1人の映像が大きく映る)または主な話者をビデオ固定に設定しておきます。
- ②画面共有されたら、画面上の「オプション表示」でリストを表示し「左右表示モード」にチェックを入れます。

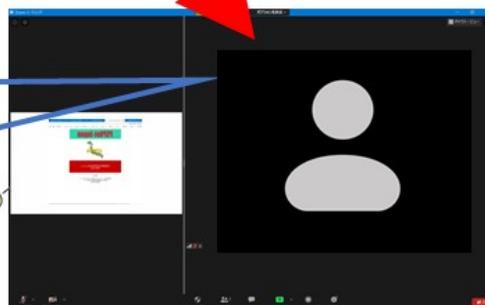


※自分が画面共有をしているときは左右表示モードは選択できません。他の参加者から共有を受けている場合のみ有効です。
※デュアルモニター使用時も、左右表示モードは使用できません。

- ③共有画面と話者画面の間にラインが現れます。ラインにカーソルを合わせてドラッグすると、左右の画面比を自由に変更する事ができます。



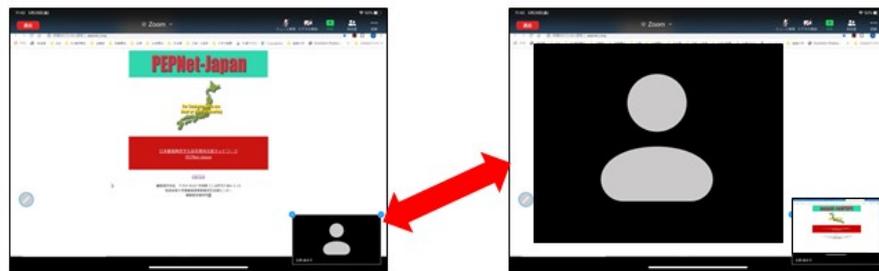
話者の映像を大きく表示。共有画面をはっきり見たいときは随時調節しながら視聴が可能です。



他の端末の場合

パソコン以外の端末(タブレット、スマートフォンなど)の場合は、左右表示モードの機能はありません。

iPadでは、共有画面と話者(スピーカーモード)とのサイズを入れ替えることが可能です。



スピーカーモードの状態では話者の画面をタップすると、話者が大画面に。

 画面共有の時にもっと話者を大きくしたい、ギャラリーの様子も見たいという場合は、次に説明する「デュアルモニター」機能を使うと効果的です。